

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束廃止の取り組みについて危険に繋がる行為には、職員が寄り添いながら、安易に否定せず見守りを行い不適切な対応のないよう工夫をしているが、声掛けの仕方に職員は戸惑う場面が多くある。	身体拘束をしないための職員の介護技術、知識の向上に努め、利用者様へのサービスの向上を図る。	月に一度のユニット会議で具体的な事例をあげ、適切な声のかけ方や拘束をしない工夫等を検討、身体拘束にあたる行為、言動はしていないか確認し合う。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。